

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 3年 4月26日
住 所 埼玉県川越市芳野台2-8-36
県内企業等の名称 株式会社CRS埼玉
代表者役職 氏名 代表取締役 加藤 一臣

株式会社CRS埼玉

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たちは、自動車リサイクルを通じて役目を終えた”過去の自動車”から、”未来”の社会に向け、再び活躍する”価値ある素材”を生み出す事を使命としており、日々の活動そのものがSDGsのゴールに”直結”しています。
私たちのSDGsターゲットは、国際社会で取り組む共通の目標です。全社員が一丸となり、またグローバルなパートナーシップで、SDGsゴールの達成に向けて、さらにチャレンジを続けていきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	・自動車リサイクル部品拡販でCO2削減 自動車リサイクル部品使用によるCO2削減効果を、新品使用の場合と比較した削減量で数値化されている。 主要10部品の販売に重点的に取り組み、CO2削減量を積み上げて行く。 [2020年度実績:19,019点販売、681t削減]	<2030年に向けた指標> 2020年比 10%up、21,000点、750t削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2020年比 3%up、19,600点、700t削減
社会	・SDGsの環境・経済達成に向けた企業体質強化 (→女性管理職数、比率向上) [2020年度 女性管理職比率 1.5%]	<2030年に向けた指標> 10.0% <取組開始3年後に向けた指標> 3.0%
経済	・レンタカーの環境貢献訴求による事業拡大 (商業車専門レンタカー:お仕事ぐるま.com) 仕事に必要なクルマを、新車では無く、既生産車のレンタルで調達した場合、1台の自動車生産に排出される約5トンのCO2が排出されずに済む。 すなわち、新規ご契約ユーザーの増加は、排出抑制が積み上がる環境貢献と考え、新規ユーザーの開拓に取り組む。 [2020年の稼働:161-ガ/年 ≒ 80tの抑制]	<2030年に向けた指標> 稼働500%up(801-ガ/年) ≒ 400t抑制/年の貢献 <取組開始3年後に向けた指標> 稼働200%up(321-ガ/年) ≒ 160t抑制/年の貢献

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。